

平成29年度 課長方針

部課	市立病院 事務局 庶務課	課長	小川 淳治
----	--------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・第2次経営改革プランの行動計画を医療従事者とともに行動計画の遂行に努める。 ・平成30年の診療報酬改定の内容について情報収集に努め適切な施設基準の取得に努める。 ・各診療科等の医療従事者に様々な情報発信を行ない連携を密にしながら安定した収益の確保に努める。 ・庶務課職員は常に病院経営を意識しながら業務を遂行する。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
第2次経営改革プランの進行管理と公立病院改革推進への対応	第2次経営改革プランの進捗状況を管理し、経営健全化へつなげるとともに、新たな公立病院改革ガイドラインに沿った内容を追加する。	第2次経営改革プランの進捗状況を半期、年度ごとに管理し、更なる病院経営の健全化を図る。また、現行プランについて、新公立病院改革ガイドラインに沿った内容を新たに追加するなど必要な改訂を早期に行う。	◎	経営状況について、院内の管理会議や経営委員会を開催し進行管理を行なうほか、プランの進捗状況については、外部評価員会議において評価をいただきながら取り組んできた。また、現行の第2次経営改革プランに新公立病院改革ガイドラインに沿った内容を盛り込んだ、第2次経営改革プラン改訂版(追加分)、を平成29年6月に策定した。
診療報酬改定への対応	平成30年の診療報酬改定に向けた迅速な対応	適切な施設基準を取得するため、新たな診療報酬改定の情報収集に努める。更に、医療従事者を対象に診療報酬改定についての説明会を実施する。	◎	平成30年診療報酬改定の研修会に参加し知識の習得と情報収集に努めるほか、院内の医療従事者、委託職員を対象とした診療報酬改定説明会を平成30年3月22日に実施した。(参加者50名)
各診療科医師の確保	市民に安心・安全な医療を提供するため、医師の確保に努める。	病院経営を安定させ、いつでも安心して医療を受けていただく為、常勤・非常勤医師の確保を継続的に実施する。	○	常勤医師の確保には至らなかったものの、非常勤の当直医師(内科・小児科)を確保したほか、消化器内科医師の拡充を図り、内視鏡(胃カメラ)の増枠にも努めた。

院内接遇対策の充実	定期的な院内研修等を開催し、更なる接遇能力の向上を図るとともに良質な医療サービスの提供に努める。	外部講師による実践的な研修会を開催し職員の接遇能力を向上を目指すため実施する。	◎	職員の接遇対策の一環として、平成30年3月28日に外部講師を招いた接遇研修を実施した。(参加者80名)
市立病院将来構想基礎調査	病院の将来構想を策定するための基礎調査を実施する。	埼玉県地域医療構想を踏まえ、今後の病院のあり方等についての将来構想を策定する前段階として、病院を取り巻く諸環境や患者の受療動向、将来患者の予測等の基礎調査を実施する。	◎	平成30年度に市立病院の将来構想を策定するにあたり、外部環境調査して社会環境調査、医療・介護需要調査、診療圏調査等のほか、内部環境調査として、財務分析、患者実態調査などを実施した。

平成29年度 科長方針

部課	市立病院 医務局 看護科	科長	松田 久美子
----	--------------	----	--------

科の運営方針
理念「地域住民(市民)に信頼される看護を提供する」 ・自ら学び、育ち合う職場環境をつくる ・働きやすい職場をつくり新採用者の定着を図り、離職率を10%以下にする

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
接遇研修	外部講師研修	患者接遇の向上	○	「患者の声」で良い評価を複数回いただくことができた
採用職員研修	平成30年の診療報酬改定に向けた	既卒職員支援計画を評価	○	計画を評価し改善案を作成した
離職防止	離職の原因分析 職場環境の改善	離職率10%以下に保持する	△	離職率12%で目標達成できず、転勤や介護、転職
診療報酬関連	30年度改定に向けた研究	看護必要度の精度向上・記録の充実	○	研修・監査により充実が図られた
看護助手活用	スキルアップ研修・職場環境改善	不足人員の補充・25対1の堅持	◎	不足人員を年度末までに補充することができた

平成29年度 科長方針

部課	市立病院 医務局 薬剤科	薬剤部長	山内 雅夫
----	--------------	------	-------

科の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に細心の注意を払い、患者の有効かつ安全な医薬品の使用に貢献する。 ・蔽市中核病院として医療・福祉に必要な医薬品の安定供給と患者に寄り添った医薬品の供給に万全を期す。 ・病棟薬剤業務と技術料重視の動向を見極め、業務展開を図る。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
薬剤管理指導業務の充実	外来調剤とのバランスを図りながら、病棟における薬剤管理指導業務の充実を図る。	一包化調剤希望患者の増加、無菌製剤処理料一部算定、抗がん剤注射剤調整が増加する中、月80件を指導件数目標とする。	◎	11月、12月より臨時薬剤師職員を1名ずつ午前のみではあるが補充できた。それにより3階病棟にも1月より薬剤師を1名、午前から病棟勤務させたことにより、月86件の薬剤管理指導を行えた。
退院時服薬指導の充実	平成30年の診療報酬改定に向けた迅速な対応	国の地域包括ケアシステム推進を鑑み、退院時服薬指導を行い、患者もしくは家族・施設による安心・安全ケアをめざし月10件を目標とする。	◎	11月、12月より臨時薬剤師職員を1名ずつ午前のみではあるが補充できた。それにより3階病棟にも1月より薬剤師を1名、午前から病棟勤務させたことにより、年間で11件の退院指導を行えた。
28年度新設の薬剤総合評価調整加算の算定	入院前6種類以上の内服薬を、処方内容総合評価のうえ調整し、退院処方で2種類以上減少した場合加算	薬効類似処方や総合作用を有する処方等につき、必要に応じ医師に情報提供を行い、薬剤効果と副作用の可能性につき総合評価し、算定を図る。	◎	入院時持参薬の鑑別整理に始まり、薬剤総合評価を行い、退院処方を2種類以上減少させた場合の算定に6件取り組めた。
ジェネリック医薬品及びバイオ後続品の導入	患者(市民)にとっても、病院経営にとってもメリットのあるジェネリック医薬品及びバイオ後続品の導入	医師とのコンセンサスを図りながら導入品目の選別と増加を図る。	◎	患者にとり負担の大きい抗がん剤等、病院経営にとってもメリットのあるジェネリック医薬品を22品目切り替えることができた。

平成29年度 科長方針

部課	市立病院 医務局 放射線科	科長	小板橋 和博
----	---------------	----	--------

科の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・最新医療技術の習得を怠らず安全で質の高い検査を保証し、診断・治療に役立つ画像の提供を努める。 ・放射線科内で情報の共有を図り、他科との連携を密にしチーム医療を行う。 ・放射線検査に関する説明及び撮影方法の提案を行う。 ・放射線の専門職として放射線被ばくの低減に努める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
症例検討会	撮影技術、症例の研究発表	撮影技術及び診断知識の向上を図る。	△	<ul style="list-style-type: none"> ・消化管検査の症例発表 ・CT・MRI検査の症例発表
院外勉強会	平成30年の診療報酬改定に向けた迅速な対応	最新医療技術の知識習得を図る。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・上部消化管読影勉強会の参加 ・CT・MRI撮影技術勉強会の参加
チーム医療	<ul style="list-style-type: none"> ・画像診断における読影の補助 ・医師・看護師との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急度が高い所見を見落とさず医師との共有を図る ・検査時間の短縮・待ち時間短縮を心がけ安全・安心に検査ができるよう努める。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・医師へ検査所見の情報提供 ・消化管検査・乳腺検査の技師所見レポート作成 ・看護師と密に連絡を取り合い検査時間、待ち時間の短縮
職場会議	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の問題点や改善点の検討 ・検査行動マニュアルの再確認 	働きやすい職場環境づくりに努める。	○	始業前・終業に行う職場会議の実施

平成29年度 科長方針

部課	市立病院 医務局 臨床検査科	科長	高木 章美
----	----------------	----	-------

科の運営方針

- ・臨床検査科は病院の基本理念に基づいて、常に患者の利益を最優先に考え、実行する
- ・検査データの精確性を第一に考え、医師・患者へ、質の高い・責任を持った検査データの提供を心掛ける
- ・試薬及び機器の安全管理に重点を置くと共に、臨床検査科全体及び個人の能力のスキルアップを怠らない
- ・検査科として関われる患者サービスの向上に、最大限の提供を心掛け、努力を怠らない

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
精度管理事業	毎日行う、内部精度管理及び年数回行われる外部精度管理事業に参加し検査データの精確性を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床衛生検査技師会や埼玉県医師会主催の外部精度管理事業に参加し、A評価を得ることを目標とする。 ・平成29年4月1日付けで承認された日本臨床衛生検査技師会「精度保証施設認証」の認証承認基準を維持すること。 	○	日本臨床衛生検査技師会主催の外部精度管理事業に参加し、評価対象数186件中、A評価184件・B評価1件(B評価も許容範囲)で、A・B評価は99.5%であった。 (日臨技施設認証基準はA・B評価が90%以上) 日本臨床衛生検査技師会「精度保証施設認証」の認証承認基準を維持する目標を達成できた。
機器の安全管理	日常の始業点検・定期点検を行い検査データを保障する。	日常の機器メンテナンスを心掛けることや毎日行なう内部精度管理データの検証により、機器による検査データの不具合防止に努める。	○	日常の仕業点検・定期点検に加え、毎日行なう内部精度管理データの検証・稼働中の機器の状況(異音・エラーなどの作業中の情報)を早期に発見することにより、検査データの不具合等はおおむね防止できた。
医療安全管理	検査業務に関わるアクシデント・インシデント・ヒアリハットなどを発生させない医療安全管理を行なう。	検査業務に関わる医療事故防止のため、人的・機器的要因やシステムを分析し、検査科職員間で情報を共有、その発生防止に努める。	○	検査科職員間で、分野別業務の情報交換を頻繁に行ない医療事故発生防止に努めた ヒアリハット事例を分析することにより、インシデント発生抑止に努めることができた。

試薬・消耗品管理	検査データの精確性・安定性に重点を置き、コスト意識を常に持ち試薬の検討を行う。	試薬・消耗品の見直しを概ね完了したが、引き続き検査データの精確性・安定性を重視した上で、使用方法・管理等を見直し、コスト削減に臨む。	○	試薬・消耗品の変更及び外注項目の院内検査への変更等を検証し年間コストの削減に貢献してきた、概ね目標が達成できたので、今年度は引き続き検証している状況
チーム医療	糖尿病療養・感染制御等チーム医療への参加など臨床支援に関わる。	検査科として関われるチーム医療で、積極的な支援を継続する(糖尿病療養チーム、感染制御チーム、栄養管理チーム、小児科検査機器管理等)。	○	糖尿病療養チームで糖尿病と検査についての教育に関わったほか、感染制御チーム等に参加し、チーム医療に貢献した。小児科検査機器(CBC・CRP装置)の運用や機器・試薬の管理を実行し臨床に貢献した。
非常事態時の危機・安全管理	非常事態時の人的確保、検査データの提供、機器・試薬の管理・確保等の検討を行う。	大震災の教訓を生かし、種々の危機を想定した上で、検査科業務の対応を検討する。	○	普段より危機的状況を意識し、機器の設置・固定や無駄にならないような試薬等の備蓄を実行した。
患者サービス	検査科として出来る患者サービスを勘案し、積極的に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 患者満足度が上がるような接遇について取り組む。 迅速検査において検体採取から結果報告までの時間(TAT)を短縮する。 	○	接遇では患者への挨拶・積極的な声かけ等を心掛けた。 小型遠心機2台の導入で迅速検査の検体採取から結果報告までにかかる時間(TAT)を短縮できた。

平成29年度 科長方針

部課	市立病院 医務局 栄養科	科長	高田 隆
----	--------------	----	------

科の運営方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・自己研さんに励み、チーム医療の一員として栄養面から患者をサポートする。 ・おいしく、安全で、満足度の高い食事を提供する。 ・早期退院を目指し、患者個々の身体状況に応じた栄養管理を心がける。 ・実践しやすく、継続しやすい栄養食事指導を行う。 ・互いに認め合い、協力し、高め合う職場環境づくりに取り組む。 	

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
病院給食	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルを遵守し安全な食事を提供する。 ・嗜好・残菜調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理の徹底と、異物混入、誤配膳等のインシデントの発生防止 ・患者の意見を献立に反映させた、満足度の高い食事の提供 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルを遵守し、食中毒を発生することなく安全な食事を提供した。 ・食事アンケートを平成29年8月と平成30年2月に行い、残菜調査を、毎食実施した。 ・食事アンケートでの、「パックのドレッシングが開けられないのでかけて提供して欲しい」という要望に答え、ドレッシング類をかけて提供するように変更したなど、患者の意見を反映させ、満足度の高い食事の提供に努めた。
栄養（集団食事指導）	糖尿病教室	平成30年の診療報酬改定に向けた迅速な対応	◎	6月8日、11月2日に実施し、それぞれ9人、8人が参加した。11月の教室では初めて、「市販の惣菜を使った献立の立て方」の指導を行い、大変好評であった。
	教母室親	産前・産後の栄養についての指導、助言	○	合計で150人の妊婦に対し、産前産後の食事についての指導を行った。
栄養食事指導（個人指導）	主治医や他院からの依頼による入院栄養食事指導と外来栄養食事指導	患者の社会背景を勘案し、実践しやすく継続しやすい食事計画の提案に努める。	○	合計で373人の患者に対して指導を行った。指導内容は、患者の生活条件、嗜好を勘案し、実践しやすく、継続しやすいものになるように努めた。
入院患者の栄養管理	他職種と協力し、栄養状態の評価、栄養管理計画書の作成、定期的な評価を行う。	患者個々の栄養状態の把握をし、問題がある場合は、最善の栄養療法を提案できるように努める。	○	ほぼ全ての入院患者に対し、入院時の栄養スクリーニング、アセスメントを行い、対象者には栄養管理計画書の作成、定期的な評価を行った。栄養管理を行う際は他職種のスタッフと連携し、最善の栄養療法が提供できるように努めた。